

# 令和5年度事業計画及び収支予算

公益社団法人 鉄道貨物協会

令和4年度の我が国経済は、経済活動の正常化などにより、新型コロナウイルス感染症の影響で購買行動を一時的に控えてきた消費者の需要が顕在化し、インバウンド消費や個人消費を中心に回復基調が強まっていることから、民間調査機関では、令和3年度に続き、実質経済成長率でプラス成長となる予測も出ています。

令和5年度は、令和4年10月に閣議決定された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」の効果などにより、引き続き、プラス成長が見込まれている一方で、欧米を中心とする海外経済の減速による影響が懸念されるなど先行きは不透明な状況であります。

このような中、カーボンニュートラルや2030年度の温室効果ガス46%削減目標（2013年度比）の達成に向け、物流分野におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に更なる取り組みが必要となっており、営業用トラックと比較してCO<sub>2</sub>排出量原単位が約1/10である貨物鉄道輸送への関心が高まっています。

また、「物流の2024年問題」に対応するため、大量輸送機関として労働生産性に優れた輸送機関である貨物鉄道輸送には、他輸送モードと連携しながら、トラック輸送の受け皿として大きな役割を担っていくことが期待されています。

当協会ではこの流れを的確に捉え、「国民生活に不可欠な物資の安定供給」「地球環境の保全」という二つの公益に資するため、貨物鉄道輸送のもつ安定性、安全性、環境性能等の特性や長所のほか、コンテナ内貨物の偏積防止等貨物鉄道輸送の安全に資するテーマについても調査・研究し、広く国民全体にこれらを普及・啓発していく取り組みを引き続き推進してまいります。主な活動は、以下の通りです。

## 1. 本部委員会活動

令和5年度の本部委員会は、令和4年度に引き続き「利用促進委員会」、「輸送品質向上委員会」の2委員会構成とし、活発な委員会活動を推進してまいります。併せて環境問題についても両委員会において、当協会の基本活動である「エコレールマーク事業」と連携して積極的に取り組んでまいります。

委員会審議テーマにつきましては、荷主企業会員の皆様の声を反映させるなかで、利用促進委員会2テーマ、輸送品質向上委員会2テーマを選定し、委員会活動を進めてまいります。

### (1) 「利用促進委員会」2テーマ

#### ① 年間テーマ

『鉄道貨物輸送量拡大に向けた対応策に関する研究と提案』

#### ② サブテーマ

『短～中距離における鉄道コンテナの利用意向の把握および利用促進策に関する研究』

### (2) 「輸送品質向上委員会」2テーマ

#### ① 年間テーマ

『養生機能を施したコンテナの開発・検証Ⅱ』

#### ② サブテーマ

『鉄道コンテナ輸送中で製品に影響を及ぼす温湿度の把握』

なお、令和4年度本部委員会報告書を、鉄道貨物輸送の認知度向上と利用促進を図る目的で、広く全国の国公立等の図書館及び各都道府県、関係市町村に対し寄贈いたします。現在は平成25年度から令和3年度までの本部委員会報告書が当協会ホームページにて閲覧できるようになってはいますが、令和4年度分についても掲載予定であります。

## 2. エコレールマークの普及

令和5年度のエコレールマーク普及推進の取り組みとしては、これまでの活動の充実を図るとともに、以下の活動に重点を置いて取り組んでまいります。

### (1) エコレールマーク認定件数の拡大

エコレールマーク事業の基盤を強固にするために、認定企業のフォローを着実に行うとともに、新規認定企業を獲得し、中・長期目標として総認定件数400件を目指しつつ、年度目標を総認定件数360件(うち、取組認定企業110件)と定め、早期の実現に向け取り組みます。

### (2) エコレールマークの活用促進

消費者の目に触れる商品だけでなく、CSR報告書や名刺、ホームページ等にもエコレールマークを活用していただくことで、企業価値とともにエコレールマークの認知度も一層高まっていくことから、エコレールマークの活用事例を「MONTHLYかもつ」で紹介することなどを通して、認定企業の皆様にエコレールマークの活用を積極的に提案し、活用促進に努めます。

### (3) エコレールマーク出張型教室の開催

少子高齢化と労働力不足が深刻化する我が国において、将来を担う次世代の子供たちに環境負荷の小さい貨物鉄道輸送やエコレールマークに対する理解を深め、物流の仕事にも関心を高めていただく機会を設けていくことは極めて重要です。近年、多くの教育現場が授業に取り入れているSDGs(持続可能な開発目標)との関係にも触れながら本部、支部で連携し、多くの箇所、新たな地域での開催に引き続き取り組んでまいります。

### (4) 各種環境イベント等への出展、参加

企業や消費者への訴求効果が高い各種環境イベントや自治体の環境まつり、貨物駅や旅客駅でのイベント等に引き続き出展、参加し、貨物鉄道輸送とエコレールマークの認知度向上に努めます。

### (5) 大型小売店舗等での周知活動

多くの消費者が訪れる大型小売店舗等においてイベントを実施し、エコレールマークと認定商品を紹介していくことで、消費者に直接エコレールマーク事業だけでなく、エシカル消費も併せてアピールしてまいります。

### (6) エコレールマークの価値向上、改善

令和4年に国土交通省が事務局となって設けられた「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会」の「中間とりまとめ」の中で、「エコレールマークの価値向上・改善」が課題の一つとして示されましたが、エコレールマークの事務局である当協会としましても、この課題の解決に向け、示された方

向性に基づき、関係者と連携して取り組みを進めてまいります。

### 3. 支部活動の活性化と充実

各支部においては、協会を構成する三者（荷主企業等・利用運送事業者・鉄道事業者）を主軸として、以下の活動に重点を置いて活性化と充実に努める中で、広く消費者や企業への働きかけも積極的に行い、地域経済の発展、地球環境負荷の低減に寄与すべく活動を推進してまいります。

また、本部としても、支部におけるイベントへの参加、出展等が一層積極的に展開されるよう支援の充実と連携を図ってまいります。

#### (1) 地域に即した利用促進会議との連携強化

各地域における鉄道貨物輸送の利用促進や輸送品質向上に関する身近な課題を継続的に検討する場として、引き続き活発に開催してまいります。本部も、その一層の充実が図られるよう積極的に出席するとともに、本部委員会である「利用促進委員会」「輸送品質向上委員会」の活動成果の啓発にも努める等により積極的に連携してまいります。

#### (2) エコレールマークの普及に向けた取り組み

各地域における各種環境展等への出展、各支部主催の諸会議等を通じて、エコレールマーク事業及び認定企業並びに活動状況を紹介することにより、認知度の向上を図ります。また、支部からも会員各社を含めたエコレールマーク事業への参加及び教育機関への出張型教室開催を引き続き積極的に働きかけてまいります。

#### (3) 物流施設及び企業見学会の開催

鉄道貨物輸送の認知度向上や利用促進、会員等各社の今後の業務に役立てていただくこと、会員等相互の情報交換の場として活用していただくこと等を目的とし、貨物駅や各社の物流施設、製造工場などの見学会を引き続き開催してまいります。

#### (4) 鉄道コンテナ基礎知識等に関する講習会等の開催

鉄道貨物輸送に携わる実務者からの座学講習や実際にコンテナに触れていただく等の機会を設けることで、物流関係者に理解を深めていただき、鉄道貨物輸送の利用促進につなげてまいります。

#### (5) 講演会、セミナーの開催

各地域の皆さまに環境にやさしい鉄道貨物輸送をより身近に感じていただき、また広く鉄道貨物協会を知っていただくことを目的に、有識者による講演会やセミナー等を開催してまいります。なお、開催につきましては協会ホームページ等で一般に周知してまいります。

### 4. MONTHLYかもつ（JR貨物との共同編集誌）の発行

「MONTHLYかもつ」は、会員への情報を提供する媒体としての役割のみならず、公益実現に向けた当協会の諸活動を広く知っていただき、鉄道貨物輸送の利用を促進するという使命を担っています。下記の内容をはじめとし、一層広く社会へアピールできる誌面づくりに努め、発行を継続してまいります。

#### ①本部委員会活動を一般へ幅広く紹介

- ②エコレールマーク認知度向上のためのPR
- ③地域社会に根ざした支部活動の紹介
- ④鉄道貨物輸送の応援団である会員企業等の紹介 等

## 5. 貨物時刻表の発行

貨物時刻表は、貨物列車の運転時刻だけでなく、当協会の公益法人としての活動や鉄道貨物輸送の実態をいろいろな角度から紹介し、鉄道貨物輸送を広く国民の皆様知っていただくための有力な広報媒体でもあります。

「2023貨物時刻表」は、2023年3月ダイヤ改正の時刻を詳細に掲載しているほか、鉄道ファンだけでなく一般の方々にも楽しんでいただけるよう、巻頭カラーページの企画に工夫を凝らしております。書店・鉄道イベント等での販売や図書館等への寄贈を通じ、鉄道貨物輸送の認知度向上に努めてまいります。

## 6. 会員等増加運動の推進

環境負荷が少なく国民の生活物資を大量に安定供給できる鉄道貨物輸送の利用を推進する応援団を幅広く増やすために、積極的に各種環境展、鉄道関連イベント等に出展すること等を通じ、当協会の認知度向上と会員等増加に取り組んでまいります。

## 7. 本部表彰

協会事業の発展に功績のあった方並びに鉄道貨物輸送に貢献された方等を対象として、定時社員総会において、協会事業協力者表彰と鉄道貨物輸送功労者表彰の本部表彰を行います。

## 8. 本部主催会議の予定

|                          |       |           |
|--------------------------|-------|-----------|
| (1) 第12回常任委員会            | 4/7   | アルカディア市ヶ谷 |
| (2) 第44回理事会              | 4/24  | 如水会館      |
| (3) 令和5年度定時社員総会          | 5/22  | 如水会館      |
| (4) 第45回理事会              | 5/22  | 如水会館      |
| (5) 令和5年度全国事務局会議         | 7/中旬  | 未 定       |
| (6) 第46回理事会及び評議員・支部長合同会議 | 11/13 | 如水会館      |
| (7) 委員長・副委員長懇談会          | 12/上旬 | 協会本部      |
| (8) 本部合同委員会              | 3/7   | JR貨物      |
| (9) 令和5年度幹事長・事務局長会議      | 3/中旬  | 如水会館      |
| (10) 第47回理事会             | 3/中旬  | 書面開催      |
| (11) 本部委員会(利用促進・輸送品質向上)  | 各 年8回 | 協会本部等     |
| (12) エコレールマーク運営・審査委員会    | 年2回程度 | 協会本部等     |
| (13) 会誌「MONTHLYかもつ」編集委員会 | 月1回   | JR貨物・協会本部 |

以上